

奄美群島振興交付金事業計画(R元～R5)の実績に関する評価(総括)

1 成果目標の達成状況

評価対象 事業数	成果目標 設定数					【参考】 達成+ おおむね達成
		達成	おおむね達成	未達成	達成度未定	
144	192 (100%)	62 (32%)	49 (26%)	77 (40%)	4 (2%)	111 (58%)

※「達成」…達成度100%以上,「おおむね達成」…達成度70%以上100%未満,「未達成」…達成度70%未満

※評価対象事業数には令和4年度までに事業終期を迎えた事業も計上している。

2 評価結果

【達成度の判定】 ○(達成):100%以上, △(おおむね達成):70%以上100%未満, ×(未達成):70%未満

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標					
			区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
1	奄美群島農林水産物等 輸送コスト支援事業		年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値(①)	55,436 t	55,512 t	30,940 t	55.7%	×
			値(②)	56,156 千本	56,156 千本	50,706 千本	90.3%	△
			値(③)	20,312 百万円	21,937 百万円	23,770 百万円	108.4%	○
	事業実施年度		評価					
	R 元 ~ R 5							
2	奄美群島航空運賃軽減 事業		対象路線における航空輸送旅客利用者数					
			区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	611 千人	721 千人	598 千人	82.9%	△
3	奄美群島航路運賃軽減 事業		対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)					
			区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	136 千人	136 千人	113 千人	83.1%	△
4	①奄美群島誘客・周遊促 進事業(R4～) ②奄美群島交流需要喚起 対策特別事業(～R3)		対令和元年度比、対前年度比ともに増加したが、最終目標達成度は83%となった。引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。					
			引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。					
			引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。					
			引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた広報宣伝等に取り組む。					

番号	事業名		アウトカム指標	奄美大島を除いた4島への入込客数				
5	①奄美群島持続可能な観光推進事業(R5) ②奄美群島周遊観光促進事業(R4)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値		225 千人	377 千人	330 千人	87.5%	△	
	事業実施年度		評価	世界自然遺産登録地域を含む奄美群島国立公園地域において、持続的なまちづくりを実現するため、持続可能な観光を推進し、群島全体の観光客数を確保するとともに、データの集積・分析・活用することで、奄美群島全体の活性化を図ることを目的とし、各島の持続可能な観光に関する取組を積極的にPRするとともに、旅行代金の割引を実施した。また、クーポン券を配布することで消費意欲にも繋げた。				
	R 4 ～ R 5							
	事業主体 奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	観光による持続的なまちづくりを実現するため、観光客の動態データの取得実証等を行い、奄美大島だけでなく、群島全体の観光客数を確保することで、奄美群島全体の活性化を図る。					
番号	事業名		アウトカム指標	関東、関西及び沖縄から奄美群島への入込客数				
6	奄美群島誘客・周遊促進事業(「奄美・沖縄」世界自然遺産登録観光連携事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		令和 元 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値		245 千人	341 千人	245 千人	71.8%	△	
	事業実施年度		評価	日頃から「奄美・沖縄」に関心を持つ層及び世界自然遺産や自然へ興味・関心がある層に対して、「奄美・沖縄」WEBサイトを活用し各エリアの魅力発信を行うことで、来訪意欲を高めるとともにレスポンスブルツーリズムの推進へつなげることができた。				
	R 4 ～ R 5							
	事業主体 奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	今後の取組方針	令和5年度事業で提案されたペルソナ(奄美・沖縄や自然環境に興味・関心がある層)に対して、旅行促進につながるプロモーション等を検討・実施する。					
番号	事業名		アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数				
7	奄美・沖縄連携交流促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値(①航空)		54 千人	64 千人	80 千人	125.0%	○	
	値(②航路)		75 千人	78 千人	50 千人	64.1%	×	
	事業実施年度 R 元 ～ R 5	評価	対令和元年度比、対前年度比ともに増加し、最終目標達成度は航空：125%、航路：64%であったが、通年で交流が図られた。					
	事業主体 奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。				
番号	事業名		アウトカム指標	海面漁業の生産額				
8	水産資源利用開発調査	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		平成 27 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値		10,170 百万円	10,382 百万円	8,843 百万円	85.2%	△	
	事業実施年度 R 元 ～ R 5		評価	令和5年度は豪雨等の自然災害や物価高等による飼料代の高騰などにより生産量が減少し、目標値の85.2%となった。				
	事業主体 鹿児島県	今後の取組方針		地域特産種の資源増大や藻場造成、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。				
	番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数			
9	①奄美世界自然遺産保全・活用推進事業(R4～) ②奄美世界自然遺産「奄美」保全・活用事業(～R3)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値		85 人	160 人	176 人	110.0%	○	
	事業実施年度 R 4 ～ R 5		評価	世界遺産委員会からの要請事項への対応を図るとともに、金作原など保護が重要な地域における利用ルールの運用や「世界自然遺産奄美トレイル」の認知度向上のため県観光サイトへの特集ページを作成、世界自然遺産に登録されている奄美大島、徳之島、屋久島の高校生を対象とした自然体験型交流学习などに取り組んだ。				
	事業主体 鹿児島県	今後の取組方針		奄美大島、徳之島の世界自然遺産登録地域の適切な保全・管理に向けて、遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など、必要な取組を推進する。				

番号	事業名		アウトカム指標	ハブ咬傷者数				
10	ハブ対策事業(ハブ駆除対策事業)	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	H19～H28の平均	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	55.7 人	45 人以下	37 人	達成	○
	事業実施年度 R 元 ～ R 5		評価	咬傷者数は37人で、目標を達成した。				
	事業主体 鹿児島県	今後の取組方針		ハブ咬傷者数40人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。				
番号	事業名		アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数				
11	ハブ対策事業(ハブ咬症対策事業)	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	1 人	0 人	0 人	達成	○
	事業実施年度 R 元 ～ R 5		評価	ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
	事業主体 鹿児島県	今後の取組方針		ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。				
番号	事業名		アウトカム指標	①葉にんにくの生産性向上(単収増加) ②島らっきょうの生産性向上(単収増加) ③奄美プラム(カラリ)の生産性向上(大玉系統の栽培面積拡大)				
12	農業創出緊急支援推進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値(①)	710 kg/10a	920 kg/10a	922 kg/10a	100.2%	○
			値(②)	700 kg/10a	900 kg/10a	957 kg/10a	106.3%	○
			値(③)	25 ha	30 ha	33.8 ha	112.7%	○
	事業実施年度 R 元 ～ R 5		評価	葉にんにく及び島らっきょうの優良系統のウイルスフリー苗は、いずれも在来系統より増収することを認めた。 奄美プラム(大玉系統)の施肥試験により、開花不良を軽減できる施肥体系等の試験結果が得られ、生産安定対策マニュアルを作成した。				
	事業主体 鹿児島県	今後の取組方針		マンゴーでは、気象条件等により島外へ出荷できなくなる流通条件の不利性、えだまめでは重粘土壌における栽培の不安定性がそれぞれ課題となっており、改善に向けた検討を行う必要がある。このため、出荷調整を行いやすいマンゴーの品種の検討や、重粘土壌におけるえだまめの栽培技術の確立を行い、出荷の安定化や生産安定・拡大を図るとともに農家所得の向上を目指す。				
番号	事業名		アウトカム指標	適期管理による単収の向上(kg/10a)				
13	さとうきび産地活性化事業(さとうきび機械導入支援事業)	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	H24～H30の平均値	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	4,847 百万円	5,737 百万円	5,217 百万円	90.9%	△
	事業実施年度 R 3 ～ R 5		評価	機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られ、目標達成ができた。				
	事業主体 鹿児島県	今後の取組方針		さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、引き続き、作業受託組織等を対象に機械整備等の支援を行う。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島の宿泊観光客数				
14	奄美パーク展示等リニューアル事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	775 千人	1,000 千人	984 千人	98.4%	△
	事業実施年度 R 元 ～ R 5		評価	わずかに目標を達成できなかったが、奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
	事業主体 鹿児島県	今後の取組方針		奄美大島が世界自然遺産に登録され、情報発信拠点施設としてより重要な施設となることから、引き続き着実に事業の推進を図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加				
15	農業創出緊急支援事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	36,942 百万円	40,636 百万円	- 百万円	-	-
	事業実施年度 R 元 ～ R 5		評価	※統計数値が示されていないため達成度未定 年度内での事業の執行に努め、99.6%と高い執行率となっている。				
	事業主体 市町村、営農集団等	今後の取組方針		引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。				

番号	事業名		アウトカム指標	奄美大島への入込客数				
16	魅力ある観光立島促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	311,000 人	530,000 人	493,531 人	93.1%	△
	事業実施年度		評価	クルーズ船寄港回数がコロナ禍以前の水準に回復。昨年に引き続き、増加する外国人観光客やワーケーション需要に対応できるよう、多言語化やWifi整備に対する助成等を行った。				
	R 4 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		新型コロナウイルスによる行動制限が解除され、入込客数も回復傾向であることから、今後はこれまで実施してきた受入体制整備を活かしながら、貴重な自然環境について周知、理解を促進することで、環境の保全と利用の両立を図り、インバウンドも含め、誰もが楽しめる観光を目指し、その推進に取り組む。				
	奄美市							
番号	事業名		アウトカム指標	体験事業・交流イベント開催による受入人数				
17	①大和村国直地区:体験事業(R5)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	②大和村観光機能向上事業(~R4)		年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	1,868 人	3,000 人	1,152 人	38.4%	×
	事業実施年度		評価	アフターコロナによる誘客を促進するため、観光情報発信及び集落マップデザインの作成を行うとともに、観光誘客キャンペーンを実施することにより、宿泊と体験を結ぶ取組が展開できた。				
	R 3 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		令和6年度、奄美大島発の天然温泉複合施設が本村に開園され、今後観光客の増加が期待されることから、本村の情報発信による誘客の促進と観光外貨を稼ぐため、温泉施設と村内宿泊・体験を有機的に結び取り組みを加速させることにより、地域循環の観光振興を図る。				
	大和村							
番号	事業名		アウトカム指標	宇検村の観光拠点施設への訪問者・問合せ数				
18	持続可能な観光による地域デザイン計画策定事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	37,373 人	40,000 人	35,375 人	88.4%	△
	事業実施年度		評価	単独で運営していた関係競技会組織を再編成して1本化し、「宿泊」「食事」「体験」の関係者間の連絡及び協力体制が強化されている。				
	R 4 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		村観光物産協会を中心とした様々なイベントの開催による誘客活動を行っていく。				
	宇検村							
番号	事業名		アウトカム指標	来島者動向モニタリングシステムにおける滞在満足度指標				
19	フローラルちな新商品開発事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	3.8	4.2	4.9	116.7%	○
	事業実施年度		評価	目標値を上回る数値となり、本事業の成果目標は達成したと評価できる。				
	R 5							
	事業主体	今後の取組方針		当初は単年度事業として本事業を実施したが、想定を超える応募数があり、事業実施後も町内にて需要が高まっていることから、令和7年度以降に継続して実施していく予定である。新商品開発を行うことによる地域経済の活性化及び滞在満足度向上に今後も努めていく。				
	知名町							
番号	事業名		アウトカム指標	与論島への入込客数				
20	デジタルマーケティング事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	72,000 人	90,000 人	59,043 人	65.6%	×
	事業実施年度		評価	冬場のヨロン島を宣伝する観光PR動画の制作及び制作動画等の広告配信を実施。加えて、冬場に開催されるイベント(十五夜踊り、ヨロンマラソン)に関する動画配信やインスタライブの実施により、冬場のヨロン島の魅力発信に繋がった。				
	R 4 ~ R 5							
	事業主体	今後の取組方針		令和6年度以降も年間を通じた来訪誘客を図るため、冬場のヨロン島の魅力発信に努めるとともにヨロンファンを対象としたアンケート調査や座談会を実施し、冬場のヨロン島に求められている魅力等の把握に努めていく。				
	与論町							

番号	事業名		アウトカム指標	星空等ツアープログラム数				
21	ヨロン島地域資源活用事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	0 件	10 件	10 件	100.0%	○
	事業実施年度	R 2 ～ R 5	評価	ガイドスキルアップ講座、新規ガイド育成講座、星空観望会や星空関連イベントを通じた光害の啓発、会報誌の配布等を実施したことで、島民への意識情勢や旅行客の誘客に繋がっている。				
	事業主体			今後の取組方針	令和6年度以降も星空観望会や会報誌の配布等を通じた光害の啓発及び意識情勢を図るとともに、ガイド育成講座によるガイド数の確保やツアープログラムの造成を図ることで、旅行客の誘客及び持続可能な観光地づくりに努める。			
与論町								
番号	事業名		アウトカム指標	与論町への入込客数				
22	地域商品券付旅行商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	72,000 人	90,000 人	59,043 人	65.6%	×
	事業実施年度	R 5	評価	一定の宿泊日数以上滞在する来島者へ町内の体験プログラムで利用できる地域商品券を付与し、体験プログラムの利用促進や認知度向上、滞在日数の増加による地域経済の活性化に繋がった。				
	事業主体			今後の取組方針	令和6年度以降も地域商品券の付与による体験プログラムの利用促進や滞在泊数の増加による地域経済の活性化に努める。			
与論町								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
23	観光拠点連携整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	825,791 人	950,000 人	823,238 人	86.7%	△
	事業実施年度	R 元 ～ R 5	評価	入込客数は回復傾向にあるが、目標達成には至らなかった。				
	事業主体			今後の取組方針	アフターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。			
市町村								
番号	事業名		アウトカム指標	奄美野生生物保護センター来館者数				
24	アマミノクロウサギ飼育展示施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	11,000 人	20,000 人	11,209 人	56.0%	×
	事業実施年度	R 元 ～ R 5	評価	引き続き、建築工事にあたった。施設に必要な人材の確保、施設名やロゴの制作にあたった。				
	事業主体			今後の取組方針	展示工事に着手する。また、R7年4月開所を目指し、クロウサギ飼育に係る法令順守手続きや施設の管理運営に係る具体的な検討を進める。			
大和村								
番号	事業名		アウトカム指標	①加計呂麻島への入込客数(交流人口) ②ターミナル施設の利用者数(地域住民及び交流人口)				
25	加計呂麻島ターミナル整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値①	46,736 人	50,000 人	41,507 人	83.0%	△
			値②	50,000 人	53,000 人	43,000 人	81.1%	△
	事業実施年度	R 3 ～ R 5	評価	当該事業期間は令和3年度から令和7年度までの5年間と計画しており、事業評価についてはターミナル完成及び駐車場整備完了後(令和7年度)の達成度の評価を行うこととしている。				
	事業主体			今後の取組方針	令和5年度の補正予算を活用し、施設建設に取り組んでいるところである。施設の完成については令和6年度末を予定し、旧待合所の解体及び駐車場整備については令和7年度を予定している。			
瀬戸内町								

番号	事業名		アウトカム指標	拠点施設の管理運営に係る運営推進事業受講者				
26	徳之島町観光拠点施設整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	0 人	12 人	11 人	91.7%	△
	事業実施年度	評価	令和5年度について、ハード面では施設の整備や外構工事(一部)を行い、ソフト面では管理運営を担う人材育成事業を行った。					
	R 4 ~ R 5							
事業主体		今後の取組方針	令和6年度について、ハード面では外構工事含め整備を完了させ、ソフト面ではオープンに向け、管理運営を担う人材育成事業を行う。					
徳之島町								

番号	事業名		アウトカム指標	来島者動向モニタリングシステムにおける満足度指標				
27	新たな観光案内道標設置整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	0 人	4.2 人	3.7 人	88.1%	△
	事業実施年度	評価	※令和6年度へ繰越					
	R 5							
事業主体		今後の取組方針	整備されて10年以上となり、経年劣化や破損等がみられる既設観光道標を撤去し、新たな観光道標を設置することにより、来島者の利便性向上につなげる。					
和泊町								

番号	事業名		アウトカム指標	来島者動向モニタリングシステムにおける満足度指標				
28	新たな観光案内道標設置整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	3.8	4.2	3.9	92.9%	△
	事業実施年度	評価	当初、令和5年度内に観光案内道標を設置予定であったが、道標の設置工事を翌年度に繰越して実施することとなったため、指標としては目標に達しなかった。					
	R 5							
事業主体		今後の取組方針	令和5年度において発注した実施設計業務の成果物を基に、令和六年度において道標の設置工事を発注し同年度内に完了予定。					
知名町								

番号	事業名		アウトカム指標	佐仁地区休憩施設利用者数(トイレ・駐車場・広場)				
29	佐仁地区休憩施設整備	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	0 人	5,000 人	2,300 人	46.0%	×
	事業実施年度	評価	令和5年12月からの供用開始となったため、目標達成には至らなかった。利用者数実績(4ヶ月)から年間利用人数を推計すると、翌年度は達成が見込まれる。					
	R 4 ~ R 5							
事業主体		今後の取組方針	休憩施設の周知を行うとともに、佐仁地区の集落行事をはじめとする観光情報を発信し、観光交流人口の増加及び周遊型観光の促進を図る。					
奄美市								

番号	事業名		アウトカム指標	瀬戸内町への年間の入込客数の増加				
30	高知山観光トイレ整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	令和 2 年	令和 5 年	令和 5 年		
			値	93,000 人	150,000 人	136,818 人	91.2%	△
	事業実施年度	評価	令和4年度よりは増加しているものの、目標入込客数には届かなかった。R6.1月～3月のピーチ減便の影響も考えられる。					
	R 4 ~ R 5							
事業主体		今後の取組方針	令和5年11月に完成し利用を開始した。利用者が満足できる施設の維持管理にも留意しながら、今後も癒やしの島を満喫できるよう、各種施策と連携しつつ観光客の受入増加を図りたい。					
瀬戸内町								

番号	事業名		アウトカム指標	イベント開催数				
31	西郷小浜公園整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	令和 2 年	令和 5 年	令和 5 年		
			値	0 回	3 回	2 回	66.7%	×
	事業実施年度	評価	工事完了に伴い、八月踊り等のイベントを実施したが、目標の達成には至らなかった。					
	R 4 ~ R 5							
事業主体		今後の取組方針	今後は西郷隆盛ゆかりのイベントのほか、島唄イベント等を企画し、島内外から集客ができるよう、さらなる活用を検討していく。					
龍郷町								

番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
32	あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	128,000 人	132,000 人	131,295 人	99.5%	△
	事業実施年度	評価	1階躯体工事について2/3が完了した。(残はR6年度予算にて完了。)施設が完成していないため達成状況に直接的な影響はないが、コロナ禍以降、入込客数は回復傾向にある。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、共用開始後の目標達成に向け、事業推進を図る。					
	R 2 ~ R 5							
	事業主体							
	天城町	今後の取組方針		早期の事業着手、計画的な予算執行に努め、年次的に事業推進できるよう細部調整に努める。世界自然遺産登録やコロナ禍からの回復による観光需要の増加を見据え、多様な観光ニーズを的確に捉えつつ事業推進を図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	チャレンジ世代(20~44歳)人口				
33	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	23,626 人	21,300 人	19,611 人	92.1%	△
	事業実施年度	評価	令和5年度の目標を達成していないが、引き続き人材の確保に努め、奄美群島の産業振興を図る。					
	R 元 ~ R 5							
	事業主体							
	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針		「奄美群島成長戦略ビジョン2033」に向け、引き続き各種事業を積極的に展開していく。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数				
34	奄美群島民間主導型産業振興モデル構築支援事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	0 件	20 件	15 件	75.0%	△
	事業実施年度	評価	島ちゅチャレンジ:募集件数27件 採択件数6件 事業完了6件 人材育成成果発表会運営:奄美群島で活躍する民間事業者等の事例発表を行う「島サバクリエイティブGCD(ガンド)」を徳之島にて開催した。					
	R 4 ~ R 5							
	事業主体							
	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針		奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	R元~R5年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数				
35	①奄美群島移住支援推進事業(R5) ②UIOターン支援体制構築推進事業(~R4)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	0 人	43 人	45 人	104.7%	○
	事業実施年度	評価	令和5年度の目標値である43名に対し、45名と目標を達成することができた。ご家族で移住した方が2組いたことで全体の移住者数が増加することにつながった。今後も市町村と連携を図るとともに、年間を通じた移住支援の情報発信を行っていく。					
	R 元 ~ R 5							
	事業主体							
	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針		移住者・交流人口増加のため、都市部の移住・交流フェアへの参加や移住体験プログラムの周知、空き家対策の取組を行う。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数				
36	奄美群島エコツーリズム推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	85 人	160 人	176 人	110.0%	○
	事業実施年度	評価	奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:15名)					
	R 元 ~ R 5							
	事業主体							
	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針		奄美群島認定エコツアーガイドの育成及び確保や、観光客増加に伴う各島の課題解決、特定自然観光資源の指定など、自然観光資源の保全、観光利用者の体験の質の確保について取組む。				

番号	事業名		アウトカム指標	増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数				
37	奄美群島地域通訳案内士育成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	107 人	186 人	185 人	99.5%	△
	事業実施年度	評価	地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】31名(英語27名、中国語2名、韓国語2名)					
	R 元 ~ R 5							
	事業主体							
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針	外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士育成を推進し、受け入れ態勢の強化を図る。					
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数				
38	奄美群島観光物産広域連携事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	343,741 人	386,251 人	450,813 人	116.7%	○
	事業実施年度	評価	コロナ感染症による影響を受け物産展等の開催回数の減少はあったものの、ECサイトの構築、物産展等を開催するとともに、大都市圏における旅行説明会や、FAMトリップの開催を通じ、旅行者、一般消費者にそれぞれターゲットを絞ったアピールを実施出来た。併せて観光客の満足度等を図るためアンケートを引き続き実施した。					
	R 元 ~ R 5							
	事業主体							
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針	引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。					
番号	事業名		アウトカム指標	奄美黒糖焼酎移出量				
39	奄美黒糖焼酎販路拡大・人材育成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	平成 30 年	令和 5 年	令和 5 年		
			値	7,385 kℓ	7,800 kℓ	6,791 kℓ	87.1%	△
	事業実施年度	評価	奄美黒糖焼酎事業者、関係者からなるワーキンググループにおいて海外販路拡大に係る会議を行い、JapaneseFoodExpoinLAおよびSakeFestivalへの出展、フランスバイヤーの招へいを行った。					
	R 3 ~ R 5							
	事業主体							
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針	黒糖焼酎の海外販路拡大に向け、引き続きワーキンググループを運営、海外でのPR活動を行うなどにより海外販路の拡大や人材育成を行う。					
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
40	観光マスタープラン策定調査	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	556,716 人	950,000 人	823,238 人	86.7%	△
	事業実施年度	評価	奄美群島全体の観光に関する方向性についてのマスタープラン策定の為策定委員会の設立を行い各島での現状や課題を基にマスタープランを策定した。					
	R 4 ~ R 5							
	事業主体							
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針	奄美群島の観光計画の策定し、持続可能な観光振興を図る。					
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
41	奄美群島歴史文化活用事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	556,716 人	950,000 人	823,238 人	86.7%	△
	事業実施年度	評価	支援件数5件であり、地域住民が奄美固有の自然環境や方言を学習する取組みに対して支援した。					
	R 5							
	事業主体							
奄美群島広域事務組合		今後の取組方針	R5年度の単年度実施事業。					

番号	事業名		アウトカム指標	奄美スポーツキャンプにおいて、来島宿泊する延人数				
42	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
	R 3 ~ R 5		値	12,000 人	13,000 人	15,535 人	119.5%	○
	事業主体		評価	目標を大きく上回り、達成度は119%となった。これまでの取り組みの成果が出ていると考える。これからも引き続き取り組みを実施していくとともに、受け入れ側と来島者側のバランスを考慮しながら、スポーツ合宿による誘客・交流人口拡大に向けた取組を推進していきたい。				
	奄美市	今後の取組方針		これまで培ったチームとの関係をキャンプの継続実施に繋げるとともに、誘客拡大に向けた取組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	与論島への入込客の増加数(ボランティア体験モニターツアー参加者)				
43	ボランティア体験ツアー事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
	R 5		値	21 人	28 人	32 人	114.3%	○
	事業主体		評価	ヨロンマラソン前後の期間に実施したボランティア体験モニターツアーへ32人(学生29人、一般3人)が参加し、ボランティア不足を解消するとともにボランティアを通じた住民との交流により地域活性化が図られた。				
	与論町	今後の取組方針		R5年度実施により、ボランティア体験ツアーは学生のニーズが高く、大会運営に関する地域の負担軽減や活性化が見られたことから、継続に向けて受入体制の整備や財源確保等を進めていく。				
番号	事業名		アウトカム指標	①防災行政無線の整備率 (R5年度目標はデジタル無線での整備率を加味した目標) ②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数				
44	防災関連施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
	R 元 ~ R 5		値(①)	58 %	83 %	100.0 %	達成	○
	事業主体		値(②)	114 か所	41 か所	70 か所	170.7%	○
	奄美市他7町村	今後の取組方針		着実に要修復箇所の整備が進められている。				
45	奄美らしい離島留学推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
	R 元 ~ R 5		値	27 人	50 人	78 人	156.0%	○
	事業主体		評価	令和5年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は78人であり、目標値を上回った。				
	大和村外6町村	今後の取組方針		今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。				
番号	事業名		アウトカム指標	ノヤギの捕獲頭数				
46	ヤギ被害防除対策事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
	R 元 ~ R 5		値	217 頭	165 頭	201 頭	121.8%	○
	事業主体		評価	令和5年度のノヤギの捕獲頭数は201頭であった。野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。				
	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町	今後の取組方針		引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。				

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がH28(またはH28以降初めて調査した年(以下、「H28※」と表記))と比較して5%以上、上昇した箇所数の増加 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上、低下した箇所数 ③サンゴ礁被度がH28※比で新たに60%以上となる箇所数				
47	サンゴ礁保全対策事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値(①)	88 か所	120 か所以上	53 か所	44.2%	×
			値(②)	42 か所	11 か所以下	22 か所	200.0%	○
			値(③)	31 か所	73 か所以上	33 か所	45.2%	×
	事業実施年度	評価	令和5年度の実績はそれぞれ①53か所、②22か所、③33か所であった。オニヒトデ駆除数は減少傾向にあるが、引き続きモニタリングを実施し目標達成を図っていく。					
R 元 ~ R 5								
事業主体		今後の取組方針	モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。					
市町村、奄美群島サンゴ礁保全対策協議会								

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ネコの不妊手術件数				
48	ネコ対策事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	1,539 件	1,030 件	669 件	65.0%	×
	事業実施年度		評価	令和5年度のネコの不妊手術件数は669件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。				
	R 元 ~ R 5							
	事業主体		今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。				
奄美大島5市町村 徳之島3町								

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	パトロール1回あたりの希少種確認種数の積み上げ				
49	奄美大島希少野生動植物保護事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	1,000 種	1,000 種	7,000 種	700.0%	○
	事業実施年度		評価	令和5年度の希少動物確認種数の積み上げは7,000種と目標を大きく上回ることができた。				
	R 元 ~ R 5							
	事業主体		今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。				
奄美大島自然保護協議会								

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	自然体験参加者の環境保全活動の取り組み率				
50	徳之島希少野生動植物保護事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	0 %	50 %	31 %	62.0%	×
	事業実施年度		評価	盗掘・盗採パトロールを行うとともに外来種の駆除を行った。また普及啓発を行い、住民等の環境保全に関する意識向上を図った。				
	R 4 ~ R 5							
	事業主体		今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。				
徳之島3町								

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	補助申請件数				
51	奄美群島加工品販路拡大実証事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	0 件	32 件	28 件	87.5%	△
	事業実施年度		評価	令和5年度は28件の申請件数があり目標を下回る実績となった。				
	R 2 ~ R 5							
	事業主体		今後の取組方針	周知を徹底し、申請及び助成件数増へとつなげ、事業者を引き続き支援することで、販路拡大の機会創出を図るとともに事業者の育成に繋げる。				
奄美市外4町村								

番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量				
52	奄美群島水産物流通支援事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	580 トン	643 トン	1,147 トン	178.4%	○
	事業実施年度	評価	令和5年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,147トンであり、目標値を上回った。					
	R 元 ~ R 5							
	事業主体 奄美市外5町		今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における海面漁業の生産額				
53	奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	10,170 百万円	10,382 百万円	10,840 百万円	104.4%	○
	事業実施年度	評価	需要回復によるものと考えられる養殖生産量及び生産額(主にクロマグロ、カンパチ)の増加により、目標値の約104%となった。					
	R 元 ~ R 5							
	事業主体 市町村、奄美群島水産振興協議会		今後の取組方針	シラヒゲウニについては、これまで実証試験等で集積した知見をもとに種苗生産に関するマニュアルを作成し、関係者に配布した。今後種苗生産を要望する地域がある場合は、マニュアル等をもとに各自治体で検討する。 ヤコウガイについては、種苗生産試験を複数回実施したものの、目的としていた結果は得られず、現地での種苗生産は困難であることが判明した。現状の資源状態を悪化させないよう、資源管理や漁業生産の安定を図る取り組みについて引き続き検討を行う。				
番号	事業名		アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
54	観光拠点連携情報発信事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	59 %	64.0 %	48.5 %	75.8%	△
	事業実施年度	評価	満足度についてはやや改善したが、目標値と比較すると依然低いままである。特に、引き続き「交通」への満足度の低さが顕著。一方「宿泊・飲食」についてはやや改善傾向。新型コロナウイルスの落ち着いたに伴い島外客も利用しやすくなったことが要因と考えられる。					
	R 元 ~ R 5							
	事業主体 あまみ大島観光物産連盟		今後の取組方針	引き続き、満足度調査の項目(宿泊、食事、土産、交通、観光施設、自然景観、ホスピタリティ)ごとに分析、合同専門員会を通して情報の共有を図り改善に取り組む。				
番号	事業名		アウトカム指標	本場奄美大島紬協同組合による本場奄美大島紬検査反数				
55	本場奄美大島紬生産流通活性化事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	3,874 反	4,648 反	2,710 反	58.3%	×
	事業実施年度	評価	【R5年度】2,710反 (達成率参考)令和5年度目標4,648反に対する達成度は58.3%であった。 令和5年12月10日:奄美群島日本復帰記念式典に合わせて東京販売会を行い、奄美出身者との親睦を図るとともに、大島紬の販売促進を図ることができた。 令和6年2月12日~14日:福岡県久留米市にて産地視察を実施、他産地の販売方法、製品の作製状況、市場開拓の仕組み、織物産地としての活動状況等を視察し、今後の大島紬の流通の活性化につなげていくヒントを得ることができた。 令和6年2月19日~21日:島外との装関係者を対象にモニターツアーを実施、12社15名に来島いただいた。昨年同様「本場奄美大島紬グランプリ」の審査に参加いただき、今後の商品開発や情報発信につなげた。					
	R 3 ~ R 5							
	事業主体 奄美市		今後の取組方針	令和3年度策定の「第2期産地再生計画」を基に、島内外での販路開拓事業を展開するとともに、認知度向上、需要喚起を図るためのPR事業も展開する。				
番号	事業名		アウトカム指標	受診患者件数				
56	宇検村医療体制強化事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 5 年度	令和 5 年度		
			値	4,000 人	4,800 人	10,047 人	209.3%	○
	事業実施年度	評価	施設整備に着工。令和6年12月の開院に向けて事業推進中。					
	R 4 ~ R 5							
	事業主体 宇検村		今後の取組方針	現在施設整備中。令和6年12月の開院に向けて事業を進める。				

番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島チャレンジ事業への応募・提案件数				
57	海洋教育を中心とした問題解決型学習による人材育成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		令和 元 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値		0 件	3 件	3 件	100.0%	○	
	事業実施年度	R 3 ~ R 5	評価	人材育成講座(定員8名)を実施し10名が受講(2名途中辞退)。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーションAWARD2024)では6名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。また、R4年度に選定された事業について資金助成及び有識者による伴走支援を実施。(3名に伴走支援を実施)				
	事業主体			引き続きPBLによる人材育成講座及びビジネスプランコンテストを実施するとともに、町内外の関係機関等と連携しながら起業・創業支援体制を構築し、人材育成・起業支援を実施する。				
与論町	今後の取組方針							
番号	事業名		アウトカム指標	『経済センサス基礎調査』の事業所数総数を指標とし、目標値は目標年度に公表される数値とする。				
58	政策連携による多様な働き方モデル創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		令和 元 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値		2,672 件	2,680 件	— 件		—	
	事業実施年度	R 4 ~ R 5	評価	事業全体の成果目標に対する達成状況は、R6年度に実施される経済センサス基礎調査をもって評価することとするが、個別事業に関しては、9名の創業者の創出や68名の方へのフリーランス支援の実施、また、伴走型支援のデジタルマーケティングスキル習得事業として14名の方への支援に対し、満足度は9割以上が「満足した」という評価の高い結果となった。				
	事業主体			民間事業者との連携や、各個別事業間の連携を図り、市内事業者やフリーランス、創業者などの求めているニーズ把握に努め、より内容の充実した人材育成等の支援を実施できるよう事業を展開するとともに、事業最終年度となるR6年度は、事業実績についての効果測定を実施し、民間事業者主導でできる部分と、行政として支援が必要な部分を整理する。				
奄美市	今後の取組方針							
番号	事業名		アウトカム指標	生産年齢人口(人数)				
59	Uターン促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		令和 2 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値(①)		4,455 人	4,475 人	3,888 人	86.9%	△	
	事業実施年度	R 4 ~ R 5	評価	HP等で周知したもののUターン者の実績は0件であった。生産年齢人口(人数)については、総人口の減にともない、未達成となった。				
	事業主体			R6年度も継続して事業を実施しUターン者の増加に努める。				
瀬戸内町	今後の取組方針							
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における総生産額				
60	新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		平成 27 年度	令和 5 年度	令和 年度			
	値		322,597 百万円	344,123 百万円	百万円		—	
	事業実施年度	R 3 ~ R 5	評価	※統計数値が示されていないため達成度未定				
	事業主体			引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している者に対し、利子補給の支援を実施することで産業の活性化を図る。				
奄美群島12市町村	今後の取組方針							
番号	事業名		アウトカム指標	インターネット塾受講人数(累計)				
61	ICTを活用した教育推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		令和 元 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
	値		13 人	53 人	31 人	58.5%	×	
	事業実施年度	R 2 ~ R 5	評価	引き続き全3学年を対象に開塾した。3年生には受験対策を図り、1・2年生には基礎学力の向上が早い段階で培われ、勉強に対する「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来た。また、今後の生徒本人の「人間力」の向上にも繋がることが期待できる。				
	事業主体			R5年度は前年度と比較して人数が減少している。本事業を開始したH29年度と比較すると参加人数は減少傾向にある。今後、本事業の方針や生徒の「人間力」が将来において、必要とされる事を保護者に伝え、理解していただき生徒の参加を促す。				
大和村	今後の取組方針							

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	当該大会がもたらす経済効果					
62	奄美群島日本復帰70周年事業 離島甲子園in奄美		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 - 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
			値	- 人	64,029 人	80,300 人	125.4%	○	
62	事業実施年度	R 5	評価	大会には過去最多の25チームが参加し、目標の1.25倍の経済効果を地元にもたらしすることができた。					
	事業主体			今後の取組方針	R5年度の単年度実施事業。				
	奄美市								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①養殖リュウキュウアユの死亡率(5月～10月) ②水生移入生物の駆除数					
63	リュウキュウアユ保護増殖事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 5 年度			
			値(①)	46.76 %	40.00 %	91.49 %	未達成	×	
63	事業実施年度	R 5	評価	①目標を上回る死亡率となっており、養殖個体数は大きく減じた。 ②目標を大きく下回る達成度だが、水生移入生物の駆除を平成28年度から継続していることから、外来種の個体数が順調に減っていることが要因であると考えられる。					
	事業主体			今後の取組方針	①天然のリュウキュウアユを採捕することで、養殖個体数の増加及び死亡率の減少に努める。 ②水生移入生物の駆除により、天然のリュウキュウアユが生息する環境に改善に貢献できていると考えられるため、今後も継続する。				
	奄美大島自然保護協議会ヤジ分会								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	まほろば水と森公園(野生生物保護センター含む)への入込み客					
64	まほろば水と森公園地区整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
			値(①)	0 人	18,000 人	0 人	-	-	
64	事業実施年度	R 4	評価	R4年度は、園地全体の改修設計を作成した。今後は順次工事を行っていく。					
	事業主体			今後の取組方針	令和5年度以降は隣接するクロウサギ保護飼育施設の整備状況とあわせて、順次整備していき、奄美大島の西側の新たな観光ルートを構築する。				
	大和村								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美スポーツキャンプにおいて、来島・宿泊する延人数					
65	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大のためのスポーツ施設整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
			値(①)	0 人	13,000 人	14,372 人	110.6%	○	
65	事業実施年度	R 3 ～ R 4	評価	「スポーツキャンプ誘客拡大事業」に合わせ、スポーツ施設を整備し目標を達成した。					
	事業主体			今後の取組方針	誘客拡大に向けた取組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。				
	奄美市								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	喜界島への入り込み客数					
66	島の魅力発信事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
			値	60,418 人	70,000 人	43,772 人	62.5%	×	
66	事業実施年度	R 4	評価	4本の映像を制作し、公式Youtubeでの再生回数が4本合計で563万回再生され、各メディアに掲載されたり様々なコメントもあり、認知度向上につながった。					
	事業主体			今後の取組方針	広告配信を継続して行うことが大事であるが、予算の措置ができていない。一過性のものにならないように映像をうまく生かしながら島の認知度向上と魅力発信につなげたい。				
	喜界町								
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論町における生産牛飼養頭数の増加					
67	与論町敷料生産強化事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
			値	5,524 頭	5,600 頭	5,768 頭	103.0%	○	
67	事業実施年度	R 4	評価	製造能力が向上し、敷料を速やかに供給することが出来た。今後の畜産振興に向けて施設整備を併せて推進する。					
	事業主体			今後の取組方針	敷料増産を図ると共に、畜産農家への敷料の使用を推進し、高品質な子牛の生産を図る。				
	与論町								

番号	事業名		アウトカム指標	沖縄県から和泊町への入込客数				
68	北山文化圏ロード構築事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	14,288 人	18,000 人	14,979 人	83.2%	△
	事業実施年度		評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響も徐々に緩和されてきており、入込数も回復してきてはいるものの目標を下回った。那覇市及び今帰仁村でのプロモーション活動を2年ぶりに実施することができた。R5以降の入込客数の増加に期待する。				
	R 元 ~ R 4							
	事業主体							
和泊町	今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2年連続して沖縄向けのプロモーション活動が中止となっているが、今後の動向を注視しながら実施を検討する。						
番号	事業名		アウトカム指標	本部港からの入込客数				
69	与論町・国頭村連携遺産ロード構築事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	9,000 人	11,000 人	5,378 人	48.9%	×
	事業実施年度		評価	沖縄県国頭村との連携による物産フェアやPRイベントを開催するとともに沖縄北部～ヨロシ島周遊観光PR動画制作により沖縄北部地域からの誘客を図った。				
	R 元 ~ R 4							
	事業主体							
与論町	今後の取組方針	国頭村との連携によるイベント等のPR活動、広域観光ルートの構築による域外からの観光客の誘客を図るとともに、両町村の民間団体や住民等の交流促進を図ることにより、同地域からの来島者の増加につなげる。						
番号	事業名		アウトカム指標	奄美自然観察の森利用者数				
70	奄美自然観察の森整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
			値	15,686 人	20,000 人	20,739 人	103.7%	○
	事業実施年度		評価	令和3年度予算の繰越で園路及び指示標識の工事を実施した。新型コロナウイルス感染症の拡大及び4月から9月までの工事に伴う閉園により、利用者数が減少したことから最終目標値の達成が困難となった。				
	R 元 ~ R 4							
	事業主体							
龍郷町	今後の取組方針	令和4年10月8日のリニューアルオープン以降、地域内外の観光客等から利用されている。今後も龍郷町と連携しながら施設の利用促進に努めたい。						
番号	事業名		アウトカム指標	あやまる岬観光公園来園者数				
71	あやまる岬エリア整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準年度	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値①	116,217 人	120,000 人	127,362 人	106.1%	○
	事業実施年度		評価	新型コロナウイルスの影響も収まりつつあり、目標を達成。R5年度以降はコロナ禍前の実績以上を見据える。				
	R 元 ~ R 4							
	事業主体							
奄美市	今後の取組方針	令和6年度で観光整備が終了予定のため、ソフト事業の拡充にシフトし周遊型観光の振興を図る。						
番号	事業名		アウトカム指標	与論島への入込客数				
72	大金久海岸環境整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	72,000 人	90,000 人	51,258 人	57.0%	×
	事業実施年度		評価	老朽化した既存遊歩道をゴムチップ舗装に改修整備し、併せて沿道不毛地帯の植栽を行った。舗装に関しては、長さ180m、幅1.5mとなっている。百合ヶ浜及び遊歩道散策による観光客の滞留増加を図るため、施設整備を推進することできた。				
	R 3 ~ R 4							
	事業主体							
与論町	今後の取組方針	一部未整備の箇所があることから、次年度でもゴムチップ舗装及び沿道不毛地帯への植栽を実施する。						

番号	事業名		アウトカム指標	与論町敷料化ラブセンター敷料出荷量(m³)及び堆肥センター堆肥出荷量の計※堆肥出荷量についてはトン数をm³換算する。				
73	与論町資源循環型農業促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	3,982 m³	4,500 m³	4,516 m³	100.4%	○
	事業実施年度	評価	製造能力が向上し、目標値に達成することが出来た。今後の増産に向けて施設整備を併せて推進する。					
	R 3 ~ R 4							
	事業主体							
与論町	今後の取組方針	施設整備を推進しながら、敷料生産強化・堆肥製造効率の向上を図る。						
番号	事業名		アウトカム指標	施設利用者数				
74	大和村交流・関係人口創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	100 人	100 人	33 人	33.0%	×
	事業実施年度	評価	建物の工事期間が令和4年9月から令和5年3月末までであり、その期間の利用ができなかったため実績数が少なくなった。					
	R 3 ~ R 4							
	事業主体							
大和村	今後の取組方針	令和5年度にWi-Fi整備を行い本格的にコワーキング施設の利用が開始するため、施設の広報等を行い利用促進を図る。						
番号	事業名		アウトカム指標	湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数				
75	湯湾地区観光総合案内所駐車場整備	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	0 人	6,000 人	37,441 人	624.0%	○
	事業実施年度	評価	駐車場を整備したことにより、来訪者の利便性が向上し、来訪者の増加に繋がった。					
	R 3 ~ R 4							
	事業主体							
宇検村	今後の取組方針	施設使用者が駐車場を適正に利用するよう周知し、観光総合案内所を利用することで満足度向上と、村内での滞在促進を図っていく。						
番号	事業名		アウトカム指標	瀬戸内町への年間入込客数				
76	清水地区トイレシャワー施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 4 年度		
			値	150,081 人	170,000 人	113,451 人	66.7%	×
	事業実施年度	評価	新型コロナウイルス感染拡大による来島自粛等によって、入込客数が減少したが、今後は増加が見込まれる。					
	R 3 ~ R 4							
	事業主体							
瀬戸内町	今後の取組方針	令和4年4月に完成し、5月から利用を開始した。癒やしの島を満喫できるように観光客の受入増加を図る。						
番号	事業名		アウトカム指標	喜界島への入込客数				
77	旧荒木小学校改修工事	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	60,418 人	70,000 人	43,772 人	62.5%	×
	事業実施年度	評価	サテライトオフィス、コワーキングスペース、フードコート等を整備した。					
	R 3 ~ R 4							
	事業主体							
喜界町	今後の取組方針	サテライトオフィスへの企業誘致に力を入れつつ、利用客の満足度向上を図る。						
番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
78	大和城観光地連携整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	128,000 人	132,000 人	120,177 人	91.0%	△
	事業実施年度	評価	施設の運用が開始され、利用客も増えつつある。利用者に快適に過ごしていただけるような運用・予算確保、島内外の認知度が低いため、PRにも工夫していきたい。					
	R 元 ~ R 4							
	事業主体							
天城町	今後の取組方針	入込客数の更なる増加につながるよう、環境整備や観光地PR等の強化を図るとともに、世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。						

番号	事業名		アウトカム指標	施設全体の利用者の延べ数				
79	旧徳之島農業高等学校 55棟改修設計	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	1,000 人	1,200 人	1,568 人	130.7%	○
	事業実施年度	R 3 ~ R 4	評価	コロナ明けも重なり、来訪者が前年の3倍となっている。				
	事業主体							
	伊仙町							
今後の取組方針		R6年度中の改修を目指す。						

番号	事業名		アウトカム指標	喜界島への入り込み客数				
80	観光施設看板設置工事	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	53,306 人	70,000 人	43,772 人	62.5%	×
	事業実施年度	R 3 ~ R 4	評価	主要観光スポット3カ所(百の台・スギラビーチ・一本道)へ、名称を示す看板を設置し、観光客に対して案内的役割と、SNSによる喜界町のPRを行った。				
	事業主体							
	喜界町							
今後の取組方針		台風常襲地帯のため、台風対策などを十分に行い、看板保護に努める、また観光スポットと看板を絡めたSNS発信による喜界町のPRを図る。						

番号	事業名		アウトカム指標	施設利用者数				
81	里久浜トイレ・シャワー 施設等整備	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値①	7,162 人	9,000 人	720 人	8.0%	×
	事業実施年度	R 3 ~ R 4	評価	R4. 1月に完成。そのため、目標には達しなかった。今後、利用者増加が見込まれる。				
	事業主体							
	徳之島町							
今後の取組方針		令和4年度で、トイレ・シャワー施設を工期限内に完成することができた。今後、利用者が増える見込み。						

番号	事業名		アウトカム指標	「環境文化への学び舎」来館者数				
82	秋名地区「環境文化の 学び舎」整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	0 人	6,000 人	50 人	0.8%	×
	事業実施年度	R 2 ~ R 3	評価	【R3年度】 本体工事着工・完了。令和4年4月に供用を開始する。本事業により、交流人口の増加に向けて施設整備を推進することできた。				
	事業主体							
	龍郷町							
今後の取組方針		奄美群島国立公園地域に含まれる同地区の秋名集落において、シマの日常の暮らしぶりや伝統文化である「秋名アラセツ行事」を見て・触れて・知る施設として位置付け。奄美大島の新たな観光ルート(県道ルート)として、観光振興に取り組む。						

番号	事業名		アウトカム指標	笠石海浜公園に訪れる観光ツアー客数				
83	笠石海浜公園周辺整備 事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	4,400 人	4,700 人	2,117 人	45.0%	×
	事業実施年度	R 3	評価	【R3年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から令和3年度にかけて入込客の減少やツアーのキャンセル等が増加したことで目標を大幅に下回った。				
	事業主体							
	和泊町							
今後の取組方針		新型コロナウイルス感染症拡大の影響にもよるが、笠石海浜公園の環境整備による利便性向上が図られたことの周知・啓発を島内旅行関係団体(観光協会及びバス企業団等)に行うことで観光ツアーによる誘客促進を図る。						

番号	事業名		アウトカム指標	奄美フォレストポリスへの入込客数				
84	奄美フォレストポリス再整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
	R 元 ~ R 3		値	18,629 人	23,000 人	11,892 人	51.7%	×
	事業主体		評価	【R3年度】新型コロナウイルスの影響で島外の観光客の激減、感染防止による閉園等により来園者、宿泊者が落ち込んだままであった。念願であった世界遺産登録による観光客増加を見込んでいたが、その期待は来年度への持ち越しとなった。今後も順次再整備を行い、新たな観光客を取り込める魅力ある施設へ推進を図りたい。				
	大和村	今後の取組方針		引き続き世界自然遺産登録も見据えた計画的な奄美フォレストポリス園地全体の再整備を図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	ゲストハウス稼働日数				
85	ゲストハウス整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	令和 2 年度	令和 4 年度	令和 3 年度		
	R 3		値	0 日	100 日	0 日	0.0%	×
	事業主体		評価	【R3年度】中長期滞在が可能となるゲストハウスが整備されたことにより、利用者が集落での生活を体感出来る環境が整ったことから村内での滞在時間増加による観光外貨獲得でなく、「交流人口」→「関係人口」→「定住人口」への転換が期待できる。				
	大和村	今後の取組方針		事業効果をより一層効果的に発揮するためにゲストハウスの稼働率向上を図ることを目的としたICTを活用した集客計画を推進したい。				
番号	事業名		アウトカム指標	体験事業による年間受入人数				
86	国直うみがめ公園整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
	R 3		値	1,868 人	1,200 人	465 人	38.8%	×
	事業主体		評価	【R3年度】複合遊具の設置を図り、ウミガメ公園が完成したが、コロナの影響により観光客の減少により、体験事業による受入人数は伸びなかったが、マイクツーリズムの推進を図った。				
	大和村	今後の取組方針		「国直ウミガメ公園」が完成し、乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境ができることにより、家族連れの訴求力を高めることができた。今後、滞在時間・交流人口の拡大が期待されることから、更なる誘客の促進を図っていく必要がある。				
番号	事業名		アウトカム指標	①先進技術習得事業での研修受講者数 ②島外スキルアップ事業での研修受講者数				
87	ICT先進技術習得事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
	R 元 ~ R 3		値(①)	0 人	270 人	286 人	105.9%	○
	事業主体		値(②)	0 人	9 人	6 人	66.7%	×
	奄美市		評価	【R3年度】ICT関連企業従事者に対する先進技術習得のための研修講座を開催し、①については目標達成したものの、島外スキルアップ事業の活用事業者が減少し、②については目標値に達することができていない。				
88	奄美群島チャレンジ人材育成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
	R 元 ~ R 3		値	0 件	40 件	10 件	25.0%	×
	事業主体		評価	【R3年度】民間チャレンジ:募集件数47件 採択件数11件 事業完了10件 起業家人材育成:H26年度～R2年度までの成果をまとめ、課題と成果の整理を行った。スタートアップ支援事業:クラウドファンディングサイト「奄美群島 with CAMPFIRE」を開設(5件起案、調達金4,231,607円)				
	奄美群島広域事務組合	今後の取組方針		奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。				

番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数				
89	人材育成成果発表会	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	0 件	40 件	12 件	30.0%	×
	事業実施年度	評価	【R3年度】与論町での開催を予定していたが、新型コロナの影響によりオンラインでの開催となった。7名が自らの体験等を発表。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、5社が出店。9/22現在 1,629回視聴。					
	R 元 ～ R 3							
	事業主体							
奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	次年度以降も広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が、自らの受講体験を広く地元住民等に対して語ることで新たな人材の掘り起こしを図る。併せて、広域事務組合の実施する人材育成事業認知度の更なる向上を目指す。						
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数 (当事業内において実施している観光振興基礎調査に基づいて推計)				
90	奄美群島観光動向調査	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	359,780 人	386,251 人	406,750 人	105.3%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】携帯電話のGPSデータを基に奄美群島内110箇所への滞在者の居住地・性別・年齢等の属性を分析することにより、今後の観光戦略の基礎データを構築した。					
	R 3							
	事業主体							
奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	観光戦略に繋がるよう、成果物を各市町村へ配布した。令和3年度にて事業終了。						
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数				
91	奄美群島観光プロモーション動画制作事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	343,741 人	386,251 人	406,750 人	105.3%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】奄美群島の自然・文化といった観光資源を活用したプロモーション動画を制作し、YouTubeでの配信を行い、観光PRを実施した。本事業により奄美群島への更なる観光誘客拡大を図った。					
	R 2 ～ R 3							
	事業主体							
奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	動画広告を配信することで得られる視聴者の属性(年代、性別、国)、興味等を把握・分析。分析データによりターゲットに応じた施策検討を行い、より効果的なプロモーションを図ることで認知度向上につなげる。						
番号	事業名		アウトカム指標	①広告の注目度(ユーザーが広告を閲覧した回数) ②広告の誘導性(サイトの目的達成回数) ③事業者の情報発信力の向上(アンケート調査による事業者の情報発信力向上率)				
92	戦略的情報発信支援事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値(①)	0 回	100,000 回	192,534 回	192.5%	○
			値(②)	0 回	1,000 回	32,703 回	3270.3%	○
	値(③)	0 %	70 %	192 %	274.3%	○		
	事業実施年度	評価	【R3年度】yahooスポンサードコンテンツを活用し17記事を掲載した。全記事の総PV数は192,534回となった。					
R 2 ～ R 3								
事業主体								
奄美群島広域事務組合	今後の取組方針	群島内情報発信事業者と大手デジタルメディアの連携による訴求力の高い情報発信を行いつつ、民間事業者の情報発信スキルアップを図る。						
番号	事業名		アウトカム指標	利用者アンケート項目「施設・サービス内容」の大変満足・満足度				
93	奄美海洋展示館リニューアル事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	50 %	70 %	65.7 %	93.9%	△
	事業実施年度	評価	【R3年度】リニューアル事業完了後の指標は達成できなかったが、概ね目標値に近い数値となった。コロナ禍による運用面の課題が残る。					
	R 2 ～ R 3							
	事業主体							
奄美市	今後の取組方針	今後は更なる満足度向上に繋がるよう運用面も含め改善を図っていきたい。また、他施設への回遊を促す仕組みづくりを強化し、更なる観光振興へと繋げる。						

番号	事業名		アウトカム指標	①交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア) ②島の健康資源を活かした旅行商品造成数				
94	奄美らしい観光スタイル構築事業	成果目標及び達成状況	区分	基準年度	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	①H27 ②R1	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	60 %	68 %	48 %	70.1%	△
			値②	0 件	4 件	0 %	0.0%	×
	事業実施年度	評価	【R3年度】満足度低下の要因として、新型コロナウイルス感染症拡大が依然として続いたことによる、観光・飲食面の行動制限(施設閉鎖・時短営業・島外客受入不可)等が影響していると考えられる。また、アンケート聴取方法の拡大によるサンプル数増加や、細かな調査設計の変更も一要因だと分析される。					
	R 元 ~ R 3							
事業主体		今後の取組方針		依然としてコロナ感染症の影響を大きく受けている状況であるが、コロナ禍の状況にあっても感染防止と地域経済の両立に向け、世界自然遺産登録を追い風に、地元事業者、DMO等と連携して安全・安心な奄美観光に柔軟に取り組んでいく。				
奄美市								
番号	事業名		アウトカム指標	①瀬戸内町への年間の入込客数 ②観光メニュー参加者数 ③新規観光メニュー開発数				
95	瀬戸内町旅行商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	131,376 人	150,000 人	89,365 人	59.6%	×
			値②	— 人	650 人	468 人	72.0%	△
	値③	— 件	5 件	4 件	80.0%	△		
	事業実施年度	評価	【R3年度】 コロナの影響で目標には届かなかったが、観光メニュー参加者数は、大幅に増加した。					
R 元 ~ R 3								
事業主体		今後の取組方針		計画通り今年度(R3)まで本事業を実施し、魅力的な観光商品の開発や既存メニューのブラッシュアップを行い、入込客の増による観光業の活性化を図る。併せてコロナ感染症対策を万全に整えて、安心・安全な観光スタイルを構築する。				
瀬戸内町								
番号	事業名		アウトカム指標	①滞在型プランの企画開発・ブラッシュアップ数 ②体験型観光の参加者数 ③観光客の実態把握数				
96	徳之島町滞在型観光促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値①	9 コース	12 コース	5 コース	41.7%	×
			値②	10 人	60 人	35 人	58.3%	×
	値③	0 人	300 人	35 人	11.7%	×		
	事業実施年度	評価	【R3年度】昨年同様にコロナの影響で事業実施のタイミングが掴めなかった。					
R 2 ~ R 3								
事業主体		今後の取組方針		今後はコロナの落ち着き状況をみて検討していきたい。				
徳之島町								
番号	事業名		アウトカム指標	①ICT活用校数 ②全国学力・学習状況調査における主要2科目の平均通過率の平均				
97	徳之島型モデルICT活用教育推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	3 校	4 校	4 校	100.0%	○
			値②	▲ 5.5 %	100 %	133 %	133.0%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】町内北部4小学校(母間、花徳、山、手々)の地区指定4校合同遠隔授業の実施することにより、児童・生徒の学力維持・向上、教職員のスキルアップを図った。その結果、主要科目の平均比較では目標を大きく上回った。					
	R 元 ~ R 3							
事業主体		今後の取組方針		今後も地区指定校の合同遠隔授業を推進していくとともに、教職員のスキルアップを図る。				
徳之島町								

番号	事業名		アウトカム指標	①再生エネルギー由来の独自電源を使用する電力量の増加 ②再生エネルギー由来の電動モビリティに切り替えた移動距離の増加				
98	スマートアイランド推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	0 kWh	10,000 kWh	4,581 kWh	45.8%	×
			値②	0 km	10,000 km	156 km	1.6%	×
	事業実施年度	評価	【R3年度】 電動モビリティを導入し、観光客向けに貸出を行ったが、コロナ禍ということもありそもそも観光客の入込数が例年と比較し激減したため、目標としていた走行距離には満たなかった。しかしながら利用者を対象にしたアンケートにおいては前向きな意見が大半を占めていたため、今後の展望としては電動モビリティ等の利用拡大が期待される。					
	R 2 ~ R 3							
事業主体	今後の取組方針	電動モビリティの追加導入・充電スポットの拡充・利用対象者の拡大等を検討する。						
知名町								
番号	事業名		アウトカム指標	喜界島への年間の入込客数の増加				
99	スマートフォンを活用した観光客満足度向上事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	60,418 人	65,000 人	38,492 人	59.2%	×
			事業実施年度	評価	【R3年度】 3D AR機能を導入することで観光客が島の成り立ち名等をイメージしやすくなった。			
	R 3							
	事業主体	今後の取組方針	様々な機能が揃ったところで今後の活用を検討していくことで、観光客が快適に観光できる環境を整えていきたい。また、多彩な機能をさらに充実させ、島の魅力をデジタルでも発信できるよう努めていきたい。					
喜界町								
番号	事業名		アウトカム指標	①喜界島への年間の入込客数の増加 ②観光プログラム参加者数 ③奄美らしい観光プログラム数				
100	喜界町旅行商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	53,306 人	65,000 人	38,492 人	59.2%	×
			値②	30 人	200 人	330 人	165.0%	○
			値③	19 件	22 件	12 件	54.5%	×
	事業実施年度	評価	【R3年度】 プレミアム付き体験メニュー利用券はかなり好評で、すぐ完売してしまいベストシーズンでの販売があまりできなかった。販売期間や部数についても検討すべき材料である。					
	R 元 ~ R 3							
	事業主体	今後の取組方針	今後は、アクティビティへの使用を促進できるような取組を検討していきたい。また、実績を踏まえて販売シーズンや部数、内容等を検討しながら滞在型観光をさらに進めていきたい。					
喜界町								
番号	事業名		アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
101	ヨロン戦略的交流促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	72,000 人	80,000 人	42,694 人	53.4%	×
			値②	9,000 人	10,000 人	3,693 人	36.9%	×
			値③	0 件	5 件	5 件	100.0%	○
	事業実施年度	評価	【R3年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島者数も大幅に減ったため当初予定していた目標を達成出来なかった。					
	R 元 ~ R 3							
事業主体	今後の取組方針	新型コロナウイルス収束後を見据え、国頭村等の沖縄北部と連携した旅行商品造成やPR活動等を行い、世界遺産地域からの来島やフェリーを活用した誘客に取り組み、年間を通じた来訪者数や島内での観光消費額の増加に努めたい。						
与論町								

番号	事業名		アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
102	ヨロン島来訪機会創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	72,000 人	80,000 人	42,694 人	53.4%	×
			値②	9,000 人	10,000 人	3,693 人	36.9%	×
			値③	0 件	5 件	5 件	100.0%	○
	事業実施年度	R 元 ～ R 5	評価	【R3年度】 Youtube広告に加え、Facebook広告、Instagram広告といったメディアMIX型による配信を実施。訴求力の高い動画とInstagramは相性が良く、多くのフォロワー獲得に繋がった。				
	事業主体			今後の取組方針	コロナ後の観光需要回復のタイミングに合わせて訴求力の高い動画を中心にFacebook広告、Instagram広告を配信し、興味を持った視聴者を観光協会HP、観光協会SNSへ誘導することで、コアなヨロン島ファンを獲得し、来島者増へ繋げていく。			
与論町								
番号	事業名		アウトカム指標	プログラムコースメニュー開発数				
103	ヨロン島ウェルネスプログラム商品造成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	0 件	5 件	3 件	60.0%	×
			事業実施年度	R 元 ～ R 3	評価	【R3年度】 与論の薬草を活用した薬草サウナテントやお茶体験、海水温熱療法の開発を行った。本事業により、受入体制の構築を図るため、体験プログラムの開発や人材育成を推進することができた。		
	事業主体	今後の取組方針	開発した旅行商品の動画作成を行い、観光協会HPに掲載している。今後は、これらの動画等を用いたプロモーション活動を行うことでツアーへの誘客を図っていく。					
	与論町							
番号	事業名		アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
104	観光施設機能強化事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	64 %	66 %	47.7 %	72.3%	△
			事業実施年度	R 2 ～ R 3	評価	【R3年度】 計画どおり村内の観光施設2箇所のトイレを洋式化することができた。本事業により、観光客満足度向上を図るため、観光施設の機能強化を推進することができた。		
	事業主体	今後の取組方針	今後も村内観光地トイレの洋式化をすすめ、目標とする満足度向上へとつなげたい。					
	宇検村							
番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
105	観光看板設置事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	128,000 人	130,000 %	90,915 %	69.9%	×
			事業実施年度	R 2 ～ R 3	評価	【R3年度】 引き続きコロナの影響を受けつつも、達成率70%の結果を出している。本事業により、観光客の利便性向上を図る一助となった。		
	事業主体	今後の取組方針	コロナが収束に向かいつつ、社会的にも人々の移動が許容され始めている状況にある。今後は世界自然遺産を核として歴史文化面においても魅力発信を強化し、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。					
	伊仙町							
番号	事業名		アウトカム指標	湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数				
106	湯湾地区観光総合案内所整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	0 人	6,000 人	0 人	0.0%	×
			事業実施年度	R 2 ～ R 3	評価	【R3年度】 計画どおり事業を執行し、観光総合案内所を建設することができた。本事業により、観光客の受入体制の強化に向けて施設整備を推進することができた。(オープンはR4.4.1～)		
	事業主体	今後の取組方針	令和3年度については、施設整備を完了させることができた。令和4年度は駐車場整備等を完了させ、来訪者増へとつなげたい。					
	宇検村							

番号	事業名		アウトカム指標	フリーランス育成者のうち収入を得た人数				
107	ICT及びフリーランス等産業支援拠点施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 4 年度	令和 3 年度		
			値	81 人	110 人	92 人	83.6%	△
	事業実施年度 R 2 ~ R 3		評価	【R3年度】 令和3年度のフリーランス支援において、延べ57名を育成し、うち3名は新たなフリーランスとなった。施設の更なる活用により、目標達成を目指す。				
	事業主体 奄美市	今後の取組方針		令和3年度に施設運用が開始され、今後、施設運営手法をブラッシュアップすることにより、情報発信機能・支援体制の構築、ビジネスのマッチング、企業・人材・仕事の誘致、フリーランス発掘・育成にさらに取り組む。				
番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
108	天城岳登山道周辺整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	90,807 人	69.9%	×
	事業実施年度 R 2 ~ R 3		評価	【R3年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が減少したため、成果目標を達成できなかった。繰越事業は、すべて完了した。				
	事業主体 天城町	今後の取組方針		世界自然遺産に登録されたことによる観光客の増加を見据え、奄美トレイルや環境省が整備した登山道と一体的にPRし、滞在型観光の促進に努める。				
番号	事業名		アウトカム指標	旅行者の観光満足度(奄美大島中長期観光戦略)				
109	奄美市滞在促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	60 %	68 %	48 %	70.1%	△
	事業実施年度 R 2 ~ R 3		評価	【R3年度】満足度低下の要因として、新型コロナ感染症拡大が依然として続いたことによる、観光・飲食面の行動制限(施設閉鎖・時短営業・島外客受入不可)等が影響していると考えられる。また、アンケート聴取方法の拡大によるサンプル数増加や、細かな調査設計の変更も一要因だと分析される(調査主体である観光物産連盟の分析より)。				
	事業主体 奄美市	今後の取組方針		コロナ感染症で大きなダメージを受けた奄美観光の回復を図り、コロナ収束後の観光満足度の更なる向上や滞在日数の延伸につなげるよう各取組を実施する。				
番号	事業名		アウトカム指標	ツアー体験人数				
110	大和村奄美満喫ツアー助成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	11 人	150 人	4 人	2.7%	×
	事業実施年度 R 2 ~ R 3		評価	【R3年度】 新型コロナウイルスの影響に伴う満喫ツアー利用実績が減少となった。				
	事業主体 大和村	今後の取組方針		引き続き、奄美満喫ツアー助成事業を奄美大島5市町村連携して行うことにより、誘客促進及び交流人口の拡大を図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数				
111	宇検村奄美満喫ツアー助成事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	343,741 人	386,251 人	276,565 人	71.6%	△
	事業実施年度 R 2 ~ R 3		評価	【R3年度】 前年度に引き続き、新型コロナの影響が大きく、執行することが困難な状況であった。				
	事業主体 宇検村	今後の取組方針		新型コロナ収束のタイミング等を見計らい、奄美大島5市町村連携を図り事業を展開していきたい。				

番号	事業名		アウトカム指標	瀬戸内町への年間入込客数の増加				
112	瀬戸内町体験型観光メ ニュー利用者促進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	150,081 人	170,000 人	89,365 人	52.6%	×
	事業実施年度	R 2 ~ R 3	評価	【R3年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止等により、入込客が目標の52.6% の、89,365人となった。				
	事業主体		今後の取組方針	コロナ終息後の観光客増に向けて、瀬戸内町のPR活動・情報発信をし ていく。				
	瀬戸内町							
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数				
113	龍の郷滞在型観光促進 事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値	343,741 人	386,251 人	276,565 人	71.6%	△
	事業実施年度	R 2 ~ R 3	評価	【R3年度】 ツアー助成を実施したほか、町公式観光動画を制作、Webによるプロ モーションを展開した。コロナの影響で新規プログラムの造成は実現で きなかった。				
	事業主体		今後の取組方針	町PR動画コンテンツを各方面で活用し、世界自然遺産登録やアフター コロナを見据えた国内外観光客の誘客を促進する。引き続きツアー助 成も継続し、観光旅客の来訪及び滞在の促進を図る。				
	龍郷町							
番号	事業名		アウトカム指標	①滞在型プランの企画開発・ブラッシュアップ数 ②体験型観光の参加者数 ③観光客の実態把握数				
114	徳之島町滞在型観光促進 事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値①	9 コース	12 コース	5 コース	41.7%	×
	事業実施年度	R 2 ~ R 3	値②	10 人	60 人	35 人	58.3%	×
			値③	0 人	300 人	35 人	11.7%	×
	事業主体		評価	【R3年度】 昨年同様にコロナの影響で事業実施のタイミングが掴めなかった。				
	徳之島町		今後の取組方針	今後はコロナの落ち着き状況をみて検討していきたい。				
番号	事業名		アウトカム指標	①徳之島への入込客数 ②天城町公式YouTubeの視聴件数 ③天城町公式Instagramのフォロワー数				
115	おいでよ！魅惑のアマ パゴス事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値①	128,000 人	130,000 人	90,807 人	69.9%	×
	事業実施年度	R 2 ~ R 3	値②	- 件	1,000 件	91,110 件	9111.0%	○
			値③	- 件	500 件	712 件	142.4%	○
	事業主体		評価	【R3年度】前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、入込客数 は目標を下回ったものの、ショートムービーの公開に伴い、町公式YouTubeや 公式Instagramは目標値を大幅に達成することができ、観光PRに繋がった。ま た、旅んちゅチケット(クーポン券)についても即完売となり、高評価であった。				
	天城町		今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の収束により、滞在型観光客の増加が期待 されており、世界自然遺産の島をアピールし、観光客の集客に努める。				
番号	事業名		アウトカム指標	徳之島への入込客数				
116	長寿と子宝のまち滞在 型観光促進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	128,000 人	130,000 人	90,807 人	69.9%	×
	事業実施年度	R 2 ~ R 3	評価	【R3年度】 引き続きコロナの影響を受けつつも、達成度70%の結果を出している。本事 業により、町のPRやクーポンの発行し、観光客の滞在促進を図ることがで きた。				
	事業主体		今後の取組方針	コロナが収束に向かいつつ、社会的にも人々の移動が許容され始めて いる状況にある。今後は世界自然遺産を核として歴史文化面において も魅力発信を強化し、観光客の受け入れ態勢を整え、受け入れ客の増 加を図りたい。				
	伊仙町							

番号	事業名		アウトカム指標	沖永良部島への入込客数				
117	高付加価値オープンエアー型プログラム創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 3 年度		
			値	90,617 人	100,000 人	55,773 人	55.8%	×
	事業実施年度		評価	【R3年度】緊急事態宣言やまん延防止措置等の影響により、R2年度に予定していた旅費助成等の一部事業実施ができなかったため、R3年度に繰り越して実施した。作成した動画やデジタルマーケティングの結果、多くのテレビロケ等の誘致につながるとともに、アンケートモニタリングシステムのサンプルも多く取得することができ、観光振興の基盤構築の一助になったと考えられる。				
	R 2 ~ R 3							
	事業主体	今後の取組方針		システムで集計したアンケート結果を観光協会や知名町と共有し、データ・数値に基づいた観光施策立案を講じていく。				
	和泊町							
番号	事業名		アウトカム指標	屋久島寄港便の利用人数				
118	海洋世界遺産ロード構築事業(世界遺産「奄美・沖縄－屋久島」を結ぶ航路支援事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 年度		
			値	600 人	1,200 人	281 人	23.4%	×
	事業実施年度		評価	【R2年度】支援の実施により、寄港回数の増加につながっていたが、コロナの影響により、一部期間(令和2年4月17日～5月31日)が運行休止となり、対前年度で実績が減少している。				
	R 元 ~ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		R2年度末終了。				
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							
番号	事業名		アウトカム指標	与論町の生産牛飼育頭数の増加				
119	奄美群島流通効率化事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値	5,422 頭	5,450 頭	5,669 頭	104.0%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】令和2年度の飼養頭数は5,669頭であり、令和5年度の目標を上回る実績となった。				
	R 元 ~ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		畜産農家数が減少傾向にあり、それに伴う飼養頭数の減少が懸念されるが、貨物船による安定した飼料供給を続け、飼養頭数の維持拡大を図る。				
	与論町							
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数				
120	奄美らしい滞在型・着地型観光推進事業(GTFS整備)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	343,741 人	359,780 人	301,523 人	83.8%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】群島内の公共交通機関(バス)へ作成したデータを提供済み。令和3年度10月現在、Googleマップにて「島バス(奄美大島)」の情報が確認出来る。				
	R 2							
	事業主体	今後の取組方針		Google等経路検索サービス提供者との契約は各公共交通機関がそれぞれ行う必要があるため、本事業は作成したデータの提供をもって終了。				
	奄美群島広域事務組合							
番号	事業名		アウトカム指標	湯湾岳公園への年間来訪者数				
121	湯湾岳周辺整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値	5,605 人	6,000 人	3,729 人	62.2%	×
	事業実施年度		評価	【R2年度】再整備工事において通行止を行ったため、実績値の大幅な減となった。				
	R 元 ~ R 2							
	事業主体	今後の取組方針		すべての関連事業が完了したため、令和3年度以降は来訪者が大幅に増加すると考えられる。今後も情報発信や施設の管理を徹底し、目標達成へとつなげたい。				
	宇検村							
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
122	瀬田海浜公園休憩施設整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	825,791 人	887,895 人	514,862 人	58.0%	×
	事業実施年度		評価	【R2年度】コロナ禍であったが58%の達成状況であった。				
	R 2							
	事業主体	今後の取組方針		今後は世界自然遺産の登録もあり、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。				
	伊仙町							

番号	事業名		アウトカム指標	①体験事業による受入人数 ②奄美らしい観光プログラム数				
123	大和村集落まるごと体験事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値(①)	1,888 人	2,000 人	2,096 人	104.8%	○
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値(②)	70 件	60 件	70 件	116.7%	○
	事業実施年度	R 元 ～ R 2	評価	【R2年度】 コロナ渦という非常に観光事業者にとっては非常に厳しい社会環境であったが、島内需要喚起を活発に行った結果、目標値を達成することが出来たとともに島内在住者のリピーターの確保という側面も生まれ、アフターコロナでの更なる交流人口の増加が期待される。また、ウミガメ公園整備を行うための測量・設計業務及び土地の造成工事等を行い、令和3年度完成に向けて整備を推進し、完成後には観光滞留時間の向上が期待される。				
	事業主体			今後の取組方針	島内リピーター獲得により、島内在住者に対しても「大和村観光」が十分にPR出来たものと考えており、この良好な流れをコロナ収束後の島外観光客の確保に努めることを目的に更なる観光外貨獲得に向けて体験メニューのブラッシュアップ及び宿泊事業者の量的・質的確保を図る。			
大和村								
番号	事業名		アウトカム指標	①ジオガイドの育成数 ②講演会の受講者数 ③ジオツアーへの島外からの参加者数				
124	世界ジオパーク認定に向けた奄美群島連携事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値(①)	0 人	21 人	10 人	47.6%	×
			値(②)	0 人	270 人	0 人	0.0%	×
			値(③)	3 人	5 人	0 人	0.0%	×
	事業実施年度	R 元 ～ R 2	評価	【R2年度】講演会はコロナ感染症の影響で実施できなかった。ジオツアーは島内の方のみで行った。4か所のジオサイトに看板設置を行った。				
	事業主体			今後の取組方針	ジオと喜界島の暮らしにあるものとの繋がりに興味を持ってもらうことが大切だと考えている。そのため「機運の醸成」を目的としたジオガイドの育成や広報誌やHPによるPR、児童向けのパンフレット作成などに取り組んでいきたい。			
喜界町								
番号	事業名		アウトカム指標	①郷土教育学習の開催回数 ②喜界島への年間入込客数 ③喜界馬を活用したプログラム数 ④プログラム参加者数				
125	奄美・トカラ連携喜界馬復活・活用プロジェクト	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度(①)	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値(①)	1 回	3 回	0 回	0.0%	×
			年度(②)	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値(②)	53,306 人	65,000 人	45,848 人	70.5%	△
			年度(③④)	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値(③)	0 件	1 件	3 件	300.0%	○
			値(④)	0 人	15 人	33 人	220.0%	○
	事業実施年度	R 元 ～ R 2	評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により郷土教育学習が実施出来ず、入込客数も大幅に減少した。喜界馬活用プログラムでは、島外旅行代理店ツアーの一部に取り入れて頂いた。島内外の個人観光・見学者は約800名程度であった。				
	事業主体			今後の取組方針	令和2年度は繁殖の関係で2頭目を導入することが出来なかったため令和3年も引き続き2頭目の帰郷を目指し、喜界馬を活用した観光振興に取り組むと共に、島に住む子ども達の郷土教育学習を今後も実施する。			
喜界町								

番号	事業名		アウトカム指標	①スポーツ教室・講演会の参加者数 ②スポーツ合宿受入延べ人数 ③新規合宿団体受入数				
126	徳之島スポーツアイランド推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値(①)	350 人	400 人	0 人	0.0%	×
			値(②)	1,800 人	2,000 人	717 人	35.9%	×
			値(③)	0 団体	1 団体	1 団体	100.0%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より合宿団体は減ったがPCR検査受診の上2団体受け入れることができた。				
	R 1 ~ R 2							
	事業主体							
	徳之島町	今後の取組方針		合宿地としての定着化と新規団体の獲得を目指し、民間事業者による誘致活動の活発化や受入体制の構築を目指すなければならない。各種セミナー等への参加や意見交換等、連携の強化に努める。				
番号	事業名		アウトカム指標	①合宿受入延べ人数 ②合宿受入団体数 ③新規団体の受入数				
127	合宿日本一の"島"推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値(①)	6,800 人	7,000 人	5,569 人	79.6%	△
			値(②)	40 団体	42 団体	37 団体	88.1%	△
			値(③)	3 団体	3 団体	1 団体	33.3%	×
	事業実施年度		評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染症の影響により一部合宿のキャンセル等があったものの、前年実績と比較しても最小限の減少幅で済んだ。今後さらなる受入態勢の強化・環境整備を図る。				
	R 元 ~ R 2							
	事業主体							
	天城町	今後の取組方針		誘致活動や広報・PRを積極的に行い合宿受入の増加を図るとともに新規種目の合宿誘致のために受入態勢の強化・環境の整備を行う。またスポーツ教室や講演会を行い交流人口の増加に努め、スポーツを通じた産業振興を図る。				
番号	事業名		アウトカム指標	①スポーツ指導者の育成数 ②スポーツ振興による新たな雇用創出数				
128	小さな島でもでっかいスポーツ環境創出プロジェクト事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値(①)	0 人	2 人	2 人	100.0%	○
			値(②)	0 人	2 人	2 人	100.0%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】コロナ禍の中、地元指導者の育成に重点を置き、オンラインなど用いた講習会を行った。また、新たな雇用が出来たことは大いに評価できる。				
	R 元 ~ R 2							
	事業主体							
	知名町	今後の取組方針		独自で講習会や運動教室等を行えるように人材育成や雇用の創出を図る。また、収益を見込めるイベントの開催を目指し、持続的かつ有効的なイベントの開催を行う。				
番号	事業名		アウトカム指標	喜界島への年間の入込客数の増加				
129	喜界町体験型・滞在型観光促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値	60,418 人	65,000 人	45,848 人	70.5%	△
	事業実施年度		評価	【R2年度】観光アプリの導入を行った。管理運営が今後の課題である。				
	R 2							
	事業主体							
	喜界町	今後の取組方針		アプリ内の写真などの充実化を図り、アプリの利用促進に繋げる。また、3DARを今年度導入することによりさらなる入込客数増加、体験型観光の促進に繋げていく。				
番号	事業名		アウトカム指標	来訪者の満足度				
130	チナ泊・チナあしびブラッシュアップ事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 - 年度	令和 5 年度	令和 2 年度		
			値	- %	54.3 %	57 %	105.0%	○
	事業実施年度		評価	【R2年度】コロナ禍での取り組みとなり、島民向けの体験プログラムや宿泊プログラムにおいては一定の実績を残せたが、島外からのモニターツアーは実施を見送り課題を残した。				
	R 2							
	事業主体							

番号	事業名		アウトカム指標	入込客数の合計が増加する(ビジョンの成果指標と整合) ※新型コロナウイルスの影響を加味し、現況値の6割程度の入込客数にとどめることを目指す。(4-5月の入込客数対前年比90%減)				
131	島の魅力発見事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
	値		70,000 人	42,000 人	34,358 人	81.8%	△	
	事業実施年度	R 2	評価	【R2年度】 島内エコツアー体験の動画制作を行い、(一社)ヨロン島観光協会のHP等で動画配信を行った。入込客数に関しては、概ね達成出来た。				
	事業主体			今後の取組方針	今回の島内エコツアー体験動画制作や配信したデータを活かし、島内の観光業者等と連携をし、今後も体験メニューの造成を行うことで、入込客数の増加につなげたい。			
与論町								
番号	事業名		アウトカム指標	①奄美群島への入込客数の内、観光客数 ②エコツアーのプロジェクト数				
132	奄美群島エコツーリズム魅力体験事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	年度		平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度			
	値(①)		343,741 人	359,780 人	301,523 人	83.8%	△	
	事業実施年度	R 2	評価	【R2年度】 認定エコツアーガイドと地域通訳案内士が連携したモニターツアーの実施や新たにエコツアーのPR動画を制作した				
	事業主体			今後の取組方針	令和2年度事業終了			
奄美群島広域事務組合								
番号	事業名		アウトカム指標	①あまみシマ博覧会プログラム実施利用者数 ②ワーケーションの参加人数				
133	奄美群島滞在型観光促進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	年度		令和 元 年度	令和 3 年度	令和 2 年度			
	値(①)		2,803 人	3,500 人	1,367 人	39.1%	×	
	事業実施年度	R 2	評価	【R2年度】 ワーケーション参加企業数23社33人、あまみシマ博覧会助成参加人数183人となった。コロナ渦でのキャンセルが相次ぎ、想うような実績には至らなかった。				
	事業主体			今後の取組方針	ワーケーション実証のための事業となることから、本年度にて終了。今後の可能性を見極めていきたい。			
奄美群島広域事務組合								
番号	事業名		アウトカム指標	整備を行う内海公園自由広場の他、隣接する三太郎の里、農林産物加工センター、木工センターの利用者数を含めた、内海周辺エリア全体の施設利用者数				
134	内海公園自由広場整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	年度		平成 30 年度	令和 5 年度	令和 2 年度			
	値		11,304 人	15,000 人	24,221 人	161.5%	○	
	事業実施年度	R 元 ～ R 2	評価	【R2年度】内海公園自由広場遊具設置工事完了に伴い、パーゴラ、ベンチ、転落防止柵等の整備を行ったことで、より安全かつ利用満足度の高い施設となった。				
	事業主体			今後の取組方針	R2年度7月完成。今後は、当該地区の観光拠点としての活用を推進していく。			
奄美市								
番号	事業名		アウトカム指標	マングローブパークの利用者数(カヌー + 資料館)				
135	マングローブパーク駐車場整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	年度		平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度			
	値		39,358 人	45,000 人	15,072 人	33.5%	×	
	事業実施年度	R 元 ～ R 2	評価	【R2年度】普通車80台、大型車6台、身障者用4台分の駐車スペースを増設し、従来の約2倍の駐車が可能となったことで、キャパシティ不足の問題が解決した。しかしながら、コロナウイルス感染症にかかる観光客の減少や、施設閉館等の影響で利用者は大きく減少した。				
	事業主体			今後の取組方針	R3年3月に完成。今後の島内唯一の道の駅として観光・教育・サービスエリアとしての機能増進につなげていく。			
奄美市								

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	体験事業による年間受入人数				
136	国直うみがめ公園整備 事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 2 年度		
			値	400 人	1,500 人	2,096 人	139.7%	○
事業実施年度	R 元 ~ R 2	事業主体	評価	【R2年度】舗装・植栽・照明灯・小規模遊具の設置を行ったが複合遊具等は未設置であり、次年度継続して整備推進を図る。				
事業主体	大和村			今後の取組方針	「国直ウミガメ公園」を継続的に整備することにより、乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境をつくることで、家族連れの観光客等への誘客促進を図っていく。			
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	湯湾岳公園への年間来訪者数				
137	湯湾岳展望台整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値	5,605 人	6,000 人	3,729 人	62.2%	×
事業実施年度	R 元 ~ R 2	事業主体	評価	【R2年度】再整備工事において通行止を行ったため、実績値の大幅な減となった。				
事業主体	宇検村			今後の取組方針	すべての関連事業が完了したため、令和3年度以降は来訪者が大幅に増加すると考えられる。今後も情報発信や施設の管理を徹底し、目標達成へとつなげたい。			
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	加計呂麻島を訪れる観光客数				
138	加計呂麻芝集落海水浴 場トイレ・シャワー施設 整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値	47,971 人	57,132 人	38,832 人	68.0%	×
事業実施年度	R 元 ~ R 2	事業主体	評価	【R2年度】新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響で、昨年度比83.1%の38,832人となった。				
事業主体	瀬戸内町			今後の取組方針	施設整備を行ったことで芝集落海水浴場の利便性が良くなっており、観光協会等を通じて積極的な情報発信を行うことで、観光客受入増加を目指す。			
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	団体利用者数の申請件数				
139	なごみの岬公園休憩施 設整備事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 2 年度		
			値	0 件	35 件	6 件	17.1%	×
事業実施年度	R 元 ~ R 2	事業主体	評価	【R2年度】設計監理委託 期間：R2.4.28～R2.12.15 休憩施設整備工事 期間：R2.7.17～R2.12.15				
事業主体	徳之島町			今後の取組方針	休憩施設が整備されたことにより、施設利用者が増えることが予想される。今後は施設の周辺整備を検討していく。			
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間				
140	災害時医療体制強化事 業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値(①)	12 km	0.03 km	0.03 km	100.0%	○
事業実施年度	R 元 ~ R 2	事業主体	評価	【R2年度】令和3年1月7日に完成し、災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間の削減を達成できた。				
事業主体	奄美市			今後の取組方針	令和3年1月7日 災害等の緊急時に即時対応できるようになった。			
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ハザードマップが配布周知されている世帯数の割合				
141	ハザードマップ更新事 業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 2 年度		
			値	70 %	100 %	100 %	100.0%	○
事業実施年度	R 元 ~ R 2	事業主体	評価	【R2年度】R3年度2月納品完了。また、年度内に奄美市全世帯への配布も併せて完了済である。本事業にて、奄美市内のハザードマップ更新事業は100%を達成できた。				
事業主体	奄美市			今後の取組方針	紙面でのハザードマップは10年毎に見直しを行い、WEB版でのマップにおいては毎年データの更新を行う予定である。(例：新しい土砂災害警戒区域の指定があれば、WEB版へ反映するなど。)			

番号	事業名		アウトカム指標	①奄美群島認定エコツアーガイド数 ②奄美群島地域通訳案内士研修終了者数 ③「奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの創出」を実現した事業者の2019～23年度累計件数				
142	育成人材フォローアップ事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 元 年度		
			値(①)	85 件	115 件	109 件	94.8%	△
			値(②)	107 件	153 件	129 件	84.3%	△
			値(③)	0 件	15 件	7 件	46.7%	×
	事業実施年度	評価	【R元年度】令和元年度の①奄美群島認定エコツアーガイド数は109人、②奄美群島地域通訳案内士研修終了者数は129人、③新規起業及び新商品・サービスの創出」を実現した事業者数は7件であった。					
	R 元							
	事業主体	今後の取組方針	令和元年度で本事業は終了となるが、本事業で実施していたSNSプロモーションを拡充し、令和2年度以降は、戦略的情報発信支援事業として、情報発信に特化した事業展開を図っていく。					
	奄美群島広域事務組合							
番号	事業名		アウトカム指標	閑散期(2月)の龍郷町内における滞留人口メッシュ計測地点数				
143	龍郷町集落観光案内板整備事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 5 年度	令和 元 年度		
			値	54 か所	80 か所	114 か所	142.5%	○
			評価	【R元年度】令和元年度の閑散期(2月)の龍郷町内における滞留人口メッシュ計測地点数は114か所であり、目標値を上回った。				
	事業実施年度	今後の取組方針		集落観光案内看板と集落ガイドブックを連携・活用して、観光客への情報案内ツールとして町内周遊を加速させる。				
R 元								
	事業主体	今後の取組方針		地元住民と会話した回数(回) ②今回の目的が終わった後も関係を持ちたい出会いがあった割合(%)				
	龍郷町							
番号	事業名		アウトカム指標	①地元住民と会話した回数(回) ②今回の目的が終わった後も関係を持ちたい出会いがあった割合(%)				
144	知名町交流拠点創出事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	平成 29 年	令和 元 年	令和 元 年		
			値(①)	0 回	5 回	3 回	60.0%	×
			値(②)	0 %	5 %	46 %	920.0%	○
	事業実施年度	評価	【R元年度】住民と会話ができる場(機会)の創出が必要である。ただ、出会いによって今後の関係を持つ意欲になっていることは評価できる。					
	R 元							
	事業主体	今後の取組方針	地元住民と観光客との交流の場(機会)としては、まだ仕掛けが足りていない。整備したイナミズゴーきゅらさん公園を拠点とした仕掛けづくりとして、観光農園や案内看板、商店街との連携などに取り組んでいく。					
	知名町							